

肺がんの診断と治療の最前線

講師 副院長 呼吸器外科 都島 由紀雄^{医師}

【講演内容】

日本人の死因の第1位はがんであり、その中で最も多いのが肺がんです。その理由の一つとして挙げられるのは、肺がんは症状が出てからでは根治が難しくなる、ということです。しかし、診断と治療の目覚ましい進歩により、進行肺がんに対しても根治を目指して治療を行う時代となりました。

ですが、肺がんの根治治療のためには定期的に検診を受けて早期発見することが大切になります。当院ではできるだけ被爆を抑えた肺がんドックを行っています。

[▶ご興味のある方はこちら](#)

